

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2022年10月
第224号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	3
お知らせ	7
INFORMATION	8
編集後記	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.225 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日
No.226 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日
No.227 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日

No.228 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日
No.229 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日
No.230 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日

❖報 告❖

📺この先の未来は

千葉県理学療法士会

副会長 薄（うすき） 直 宏

この文章を書いているのは8月下旬ですがニュース発行は10月です。

今、外気温は38℃、県内のコロナ感染者は6,700名／日です。気温は大きく変わりませんが、コロナ感染者は前週よりは2,000名／日近く減っています。10月には気温もコロナ感染者数もう少し落ち着いている少し先の未来を思いながら文章を書いています。

さて、今夏に行われました参議院選挙、理学療法士協会の推薦を得て出馬をされました小川かつみ先生ですが、残念ながら僅か450票足らずで落選という結果となりました。県内でも様々な方々に御尽力、お時間をいただきご支援を賜りました。なかなか個別にご連絡が出来ておらず申し訳ありません。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

選挙は残念な結果となりましたが、結果を踏まえ、この先の未来はどうなるのでしょうか？

私たち理学療法士の業務範囲や仕事の領域は概ね決められた事柄とそこに変化が加わりながら次に進んでいきます。（まれに今回のコロナの様な突発的な出来事もあります）例えば2024年には、診療報酬と介護報酬の同時改定があります。社会保障審議会介護保険部会の資料を読んでいくと「地域共生社会の実現と2040

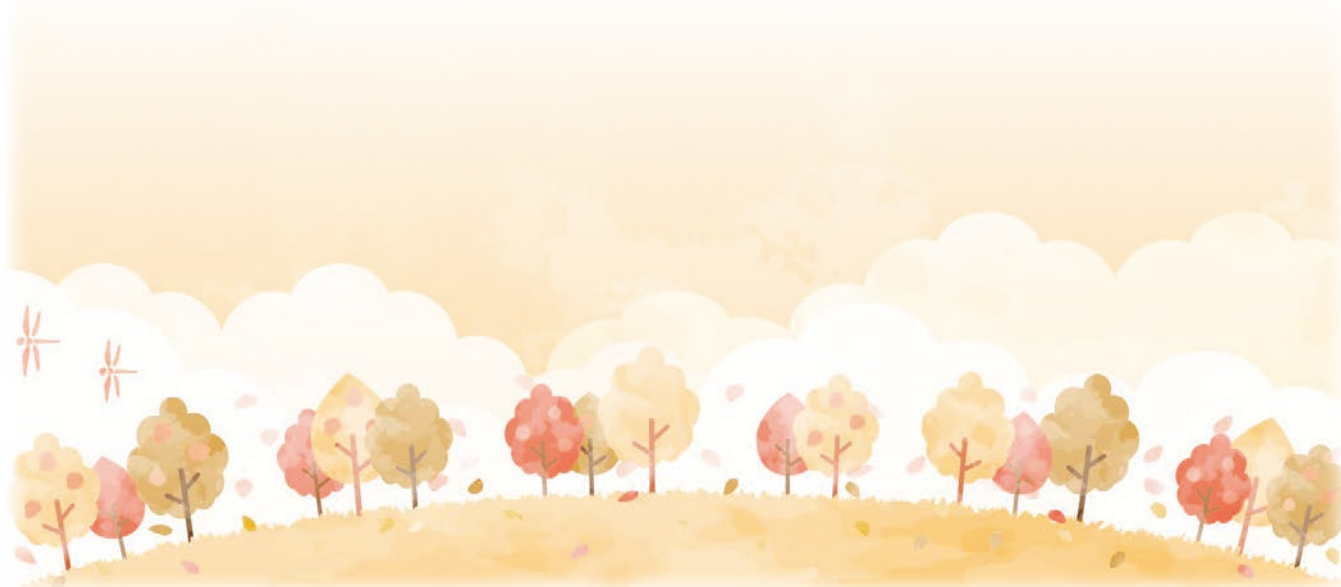
年への備え」「2040年に向けて生産年齢人口が急減」「地域包括ケアシステムの更なる深化・推進」とこの先の課題について明記されています。これらの課題は今後の大きな柱としてそれぞれで議論が進んでいきます。

また令和4年度診療報酬改定の基本方針の最初には感染症の対応がありました。その次に医師等の働き方改革等の推進、安心・安全で質の高い医療の実現、効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上と明記されてありました。引き続き感染症への対策も重要にはなりますが、もしかしたらある程度先を見通せる対応が出来るようになっているかもしれません。そうすると今後は医師の働き方改革が大きな柱になってくるのではないのでしょうか。医師等とありますので、理学療法士の働き方はどう変化していくのでしょうか？ タスクシフトの言葉も最近をよく耳にします。季節が移り変わったり、統計的に軽減していく数値では無い、少し先の未来をみなさんはどう見通せるのでしょうか？

漫然と流されるままの未来では無く、自分たちの未来は自分たちで掴み取っていききたいものです。

このコロナ禍で見通せていた2、3年先の未来、2040年と少し先の未来。私たち自身は医療の中で必要と考えている理学療法士の未来。明るい未来の話となるべく県士会としても事業を進めていければと考えております。

引き続き今の活動への参加、未来の活動へは参画をお願いしたいと思っています。



❖各部局士会活動案内・報告❖

🔍学術局報告

学術局 局長 藤 井 顕

学術局からの生涯学習の情報および研究支援委員会研修会の案内等につきましては、千葉県理学療法士会ホームページトップページにある研修会新着情報もしくは、「登録理学療法士・生涯学習」及び各局紹介から学術局のタグよりページを開き各種情報をご確認ください。

【登録理学療法士の取得に向けて】

学術局 局次長 小 林 好 信

今年度新入会員の皆さまは、9月よりe-learningでの座学受講が開始となっておりますので、計画的な履修をよろしくお願いいたします。後期研修履修中の皆さまは、e-learningの受講と並行して症例検討会についても発表や聴講にて履修をお進めください。症例検討会への参加や発表のお申込みは、学術局HPをご確認ください。また制度の概要については、協会HPにてご確認ください。

【登録理学療法士更新研修会について】

学術局企画運営部 部長 室 井 大 佑

10月30日に文京学院大学の福井 勉先生を講師にお迎えして、登録理学療法士を対象に「皮膚運動学と臨床応用概要」をテーマに更新研修会を行います。ぜひ、ご参加ください。

【研究支援セミナーについて】

研究支援委員会 委員長 高 杉 潤

研究支援委員会では、今年度も県士会員の皆様の研究活動に役立つセミナーを企画しています。下半期は、統計手法や県学会に向けた抄録作成、プレゼンテーションのコツなどを企画しております。さらに新企画として研究費獲得の方法やポイント、女性研究者や企業・研究機関で活躍するPTも予定しております。県士会ホームページ等を適宜ご確認ください、ぜひご参加ください。

🔍職能局報告

●介護保険関連の業務およびCOVID-19関連の情報について

介護保険部 部長 大 塚 剛

新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るっていますが、厚生労働省から介護保険サービスについてリハビリ業務関連やCOVID-19関連の通知・事務連絡が最近でも発せられています。これらの通知等をご覧になる場合は次のワード「介護保険最新情報掲載ページ 厚生労働省」にてご検索ください。今後も順次発せられることが考えられますので定期的にご確認されることをお勧めいたします。

この文章はR4年8月中旬に作成しました。また介護保険の業務相談も下記のアドレスで受け付けています。運営基準や通知文の解釈等、ご遠慮なく疑問があればご相談ください。

e-mail: chibaptaigo@yahoo.co.jp

🔍第28回千葉県理学療法学会関連報告④

広報局長 額 額 琢 磨

第28回千葉県理学療法学会

■テーマ：サステナブルな理学療法士の価値の創造

■会 期：2023年3月5日（日）

●準備委員広報局長挨拶

より多くの方にとどけ！

広報局長 額 額 琢 磨

(小見川あすなろクリニック)

第28回である今回から千葉県理学療法士学会から名称が変更され、千葉県理学療法学会となりしました。私は県士会ニュース編集部長も務めており県士会ニュース223号の編集後記でも書かせていただきましたが、学会とは、学者や研究者が、自身の研究成果を発表し、その妥当性を検討議論する場であるとされています。また同時に、査読、研究発表会、講演会、学会誌、学術論文誌などの研究成果の発表の場を提供する業務や、研究者同士の交流などの役目も果たす機関でもあります。

学術大会とは、特定の分野や学術内容に興味のある人向けに講演を行ったり、口頭発表、ポスター発表、

テーマセッション、懇親会、シンポジウムなどがおこなわれ、企業のプレゼンテーションやワークショップなども開催され、学術大会は特定の分野の情報発信について、一般の人も含めて対象を広める目的を持つことが多くみられるそうです。

今大会がより多くの県内リハビリ職をはじめ県民の方々に知っていただける様に、今後も広報活動をおこなっていききたいと思います！そして、将来的に千葉県理学療法学術大会が、より多くの方に知っていただき、興味を持っていただける大会になることを願います。

さて、今回はサステナブルな理学療法士の活動紹介におきまして、来年度に開催される第29回千葉県理学療法学術大会の大会長に内定した香取海匝地区ブロック長の宮内守先生と準備委員長に内定している横谷浩士先生に、お二人が関わるサステナブルな理学療法士の活動を紹介していただきたいと思います。今回は、3.すべての人に健康と福祉を、11.住み続けられるまちづくりを、という目標に関わる活動を実践している香取海匝ブロックのSustainableな活動をご紹介します。

●香取海匝ブロックのsustainable

横 谷 浩 士

(総合病院国保旭中央病院)

来年度、第29回の学会準備委員をやらせていただくことになりました、香取海匝ブロックコアメンバーの旭中央病院の横谷と申します。学会開催準備の事前勉強にと、今年度第28回の学会準備委員会に参加させて頂いた中で、「持続可能な理学療法」をテーマに原稿作成依頼をいただきました。

sustainableは最近よく聞くキーワードですが、自分に置き換えて考えたことはなくどう書くべきか迷走しました。

自分の所属は千葉県北東部の片田舎にある旭中央病院で、地域の基幹病院として三次救急を請け負う公的な急性期病院であります。急性期病院は新患者が多く在院日数も短く、日々慌ただしく過ごす状況で、患者さんの理学療法の病期全体から見るとわずかな時間であり、持続可能がどうのを考える間もなく次から次へとこの10数年、目の前の仕事をやりつづける日々でありました。そんな中で3年ほど前に千葉県香取海匝ブロックコアメンバーにお声掛けをいただき、初めて

自身の地域の理学療法士の皆さま方との、継続的な関わりを体感することになりました。そこで初めて、急性期病院以外のPTの実情といえますか、回復期や生活期で様々な取り組みがなされていることを知り、香取海匝ブロックのPTの大多数が、急性期病院以外の病期に関わられていることを実感するに至りました。

香取海匝ブロックのPTのあり方、持続可能性を考える中では、急性期の慌ただしさの中でのsustainableを考えるのはもちろんではありますが、地域で患者さんが住み慣れた場所で、日々理学療法を提供されている生活期の中で考えることがよりふさわしいのではと感じます。そして、その活動を支える地域のPTこそが、当ブロックの牽引役なんだと認識しています。そんな生活期リハでsustainableな理学療法を提供され、香取海匝ブロックの屋台骨となっている松原さん・厨川さんに、取り組みをご紹介します。

●ローリングバレーボールと地域活動

松 原 真 紀

(九十九里ホーム病院)

みなさんは「ローリングバレーボール（以下、ローリングバレー）」という障がい者スポーツをご存知でしょうか？

名前の通り「玉を転がすバレーボール」。バレーボール用のコートで、ネットを床から35cmまでの高さに設置し、その下をボールを転がして点数を競う6人制の競技です。選手は、基本的には床に座り、膝立ちまでは可、寝たままでもOKです。後衛であれば車椅子、健常者の参加も可能です（一部ルールに地域差あり）。1977年に兵庫県立播磨養護学校の体育事業で誕生し、重度の障がい者から高齢者、健常者まで、障がいの種類や有無を問わず、誰でも参加が可能な「バリアフリー・スポーツ」の一つとされています。

2004年に香取海匝地域で唯一のチーム「つくもファミリー」を作業療法士の方々と立ち上げた際の目的は、地域の障がい者の活動の場や運動の機会、他者との交流や情報交換の場となることであり、当時は目の前の障がい者の方々を何とかしたいという思いでしたが、振り返ると現在の地域リハに通じるものでありました。参加者の障がいは、脳血管障害、脊髄損傷、脳性麻痺、パーキンソン病、精神疾患など様々であり、疾患や移動能力で参加の可否を問わないチームです。

唯一の条件はスポーツ保険に加入していただくこと！現在の平均年齢は58.6歳、男性が多いことも特徴の一つです。毎月の練習に加え、コロナ禍前は毎年神奈川交流大会に参加することがチームの目標であり、練習では冗談や笑いの多いチームですが、試合では真剣そのもの！ 良い緊張感と達成感、悔しさ……これがまたsustainableにつながるのではないのでしょうか。また、当初は運営の全てをスタッフが担っていましたが、今では失語症の方が苦労しながら体育館の予約を取り、片麻痺の方同士でネットを設営し、モップがけまで行います。更に新規勧誘もデイサービス利用者同士でなんてことも。スタッフは、審判、体調管理、応急処置、動作のアドバイス、選手のサポート、コーチを担当します。障がい者の方々が役割を持ち、主体的に関わることもチームが続く、sustainableな要因の一つと言えます。



「つくもファミリー」立ち上げから17年、小学生だった子は成人を迎え社会人に、高齢を理由に引退された方もいらっしゃいます。スタッフも子連れでの参加が増え、メンバーのお孫さんも含め子供達で対戦できるほどに。

今回、あらためて地域活動でのsustainableを考え、障がいの有無を問わず、世代間交流もできるスポーツの有効性を感じています。課題は、メンバーの高齢化やボランティア不足などです。介護・障がい等の制度が整い、疾患別リハや病期別リハなど専門化されることでの利点もありますが、細分化されることで、障がい者だけでなく理学療法士も多様な関わりを持つ機会や視点が減っているように感じます。

Sustainableな地域活動に対し、理学療法士として何が出来るか、ブロック活動でのつながりや拡がりを通して得られることも多く、期待が膨らみます。今後もメンバーと一緒に試行錯誤しながら、夢は香取海匝地

域でローリングバレーの大会開催！ 何より、自分が楽しみながら、老後まで！ 興味を持たれた方は、ぜひ一緒に転がってみませんか？

■つくもファミリー

<https://99family.jimdofree.com/>

●地域の障がい者スポーツへの取り組み

厨 川 圭 介

(銚子市立病院)

香取海匝ブロックの公益事業よりsustainableな活動を紹介させていただきます。

一昨年度に当ブロック初の公益事業として、パラリンピックの正式種目でもあるボッチャを体験会として開催しました。ルールは非常にシンプルながらも実に奥が深い競技であり、チーム戦では上位チームに豪華賞品が出るやら出ないやらで参加者の本気かつ楽しんでいた姿を今も鮮明におぼえております。

第2回の公益事業として昨年度は地域で活動している障がい者スポーツ、アクティビティに関する情報を医療従事者や行政関係者、障がい者の方等、総勢40名程にオンラインで紹介・交流会を開催しました。紹介コーナーでは参加者の方がイメージしやすい様に実際の活動映像を用いながら活動に携わっている方、障がい者の方より説明をいただきました。その後の交流会では医療従事者、行政に期待していることやグループを立ち上げたきっかけや障がい者をサポートする上での留意点など熱のこもった意見交換を行いました。

そして、第3回となる今年度は対面事業が可能なのであれば職種、健常者、障がい者を問わず様々な方と一緒に障がい者スポーツの体験会を企画しております。

私事になりますが、今回ブロック活動に従事するまでは障がい者スポーツに関心がなく当然、ボッチャな



どは聞いた事がある程度で経験もなく、ルールも知りませんでした。

県士会主催のボッチャ説明会に参加し実際に試合形式で体験してみると自分でも不思議なことに腰を深く落とし指先まで神経を集中する私がありました。結果はブロック長と同じチームでビリでしたが、今思うと、このワクワクした経験・感覚がsustainableの礎になっているのではと感じております。この感覚を少しでもブロック会員の皆様やこれから障がい者スポーツに携わる方々と共有できればという気持ちで今、ブロック活動に従事しています。

❖一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和4年度 第4回理事会 議事録

日 時：令和4年7月8日（金）19時00分～20時00分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕
小川明宏、外口徳章、松川基宏
高杉 潤、山岡郁子、藤川孝彦
桑江 豊、小林好信、三和真人
渡辺政基、中村亮太、森田悠介
〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦
〈委任状〉松田 徹、西田裕介、榎尾英之
〈欠 席〉草木雄二
〈事務局〉奥村龍之

1 報告

1) 会長報告

6月10日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

2) 三役局長会議報告

7月4日に開催され、議案調整等について報告された。

3) 事務局報告

事務局会議（6月30日開催）の議題（第6回代議員総会関係、メルマガの登録状況、ブロック等）について報告された。

4) 第28回千葉県理学療法学会の準備状況について

名称を「第28回千葉県理学療法学会」に変更

したこと及び進捗状況について報告された。

5) 臨床実習指導者講習会の進捗報告について

開催報告（2回）と開催予定（6回）、及び参加者数について報告された。

2 審議事項

1) 第29回千葉県理学療法学会 大会長について

第29回千葉県理学療法学会学術大会学術大会長について、学会検討委員会より宮内守氏（イムス佐原リハビリテーション病院）を推薦され、賛成多数にて承認された。

2) 講師・世話人の認定申請について

4名の新規申請者の認定を審議し、賛成多数にて承認された。

3 その他

1) 会長と話そう会について

田中会長より、会長と会員と話し合う企画「会長と話そう会」について提案され、承認された。詳細については改めて報告予定。

2) 対面での士会事業について

田中会長より、現状において対面での士会事業については原則禁止をしており、四半期ごとに見直すこととしていたが、現状に変更がないことを改めて報告された。なお、今後についてはフローを作成し理事会にて検討することを共有された。

3) ハラスメントについて（報告）

年度当初に会員よりハラスメントの相談を受け、第三者委員会を開催し弁護士と相談の上、方向性を導いたことを報告された。なお、今後はハラスメント委員会にて、相談があった際の対応について検討するよう依頼したことを報告された。

次回、令和4年度第5回理事会

日 時：令和4年9月を予定

会 場：WEB会議

以 上



❖お知らせ❖

第7回一般社団法人千葉県理学療法士会 役員選挙告示

令和4年10月1日

選挙管理委員会 委員長 内村 元

一般社団法人千葉県理学療法士会、定款30条、及び
役員選挙規程に基づき役員選挙を行います。

1. 選挙すべき職と定数

理事 14名～30名

監事 1名～3名

2. 立候補受付期間

令和4年11月1日（火）より

令和4年11月10日（木）士会事務局必着。

3. 立候補届け

士会ホームページより「役員選挙立候補届」をダウンロードし書式に基づき作成してください。

士会ホームページよりダウンロードできない場合は、下記まで連絡をください。

Email chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

4. 立候補届の郵送先

下記に郵送してください。

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル1号館1005号室

千葉県理学療法士会 役員選挙立候補受付係

5. 投票方法

郵送による選挙

（ただし定数内の場合は総会にて決定）

6. 投票期間

令和5年1月9日（月）から令和5年1月26日（木）
まで（士会事務局必着）

7. 選挙実施要綱について

士会ホームページよりご覧いただけます。

8. 選挙についての問い合わせ

次のアドレス宛にお願いします。

chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

9. 注意事項

令和4年10月1日の会員名簿をもとに被選挙人名簿を作成しています。被選挙人名簿と立候補届の内容が異なっている場合、立候補を受け付けることができません。

第4回一般社団法人千葉県理学療法士会 代議員選挙告示

令和4年10月1日

選挙管理委員会 委員長 内村 元

一般社団法人千葉県理学療法士会、定款16条、及び
役員等選挙規程に基づき役員選挙を行います。

1. 選挙すべき職と定数

千葉県士会代議員 60名～100名

2. 立候補受付期間

令和4年11月1日（火）より

令和4年11月10日（木）まで（士会事務局必着）

3. 立候補届けの様式

士会ホームページより「代議員選挙立候補届（様式3）」をダウンロードし書式に基づき作成してください。

士会ホームページよりダウンロードできない場合は、下記まで連絡をください。書式を送付します。

Email chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

4. 立候補届の郵送先

下記に郵送してください。

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル1号館1005号室

千葉県理学療法士会 代議員選挙立候補受付係

5. 投票方法

郵送による選挙（ただし定数内の場合は無投票）

6. 投票期間

令和5年1月9日（月）から令和5年1月26日（木）
まで（士会事務局必着）

7. 選挙実施要綱について

士会ホームページよりご覧いただけます。

8. 選挙についての問い合わせ

下記のアドレス宛にお願いします。

chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

9. 注意事項

令和4年10月1日の会員名簿をもとに被選挙人名簿を作成しています。被選挙人名簿と立候補届の内容が異なっている場合、立候補を受け付けることができません。

◆ INFORMATION ◆

令和4年度 千葉県生活期リハビリテーション研修会開催のお知らせ (千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議

〈開催のご案内〉

今年度も、三士会合同による「生活期リハビリテーション研修会」を開催致します。
現在、以下の内容について準備中です。

研修テーマ：「求められる訪問リハビリテーションとは ～自分たちに出来ることを考え・伝える～」

- 「在宅で遭遇する急変時の対応」
- 「訪問リハに求めること」 医師・看護師・ケアマネジャー
- 「相手のやる気を引き出す「気づく力」を養うには」
- グループワーク

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、オンラインによる開催形式となります。講師陣は、その道の第一線で活躍されている方々を迎え、オンライン形式ですが講義と能動的学習を織り交ぜた実践課題解決型の研修会となればと考えています。

訪問リハビリテーションに従事している方、経験のある方、今後関わる予定のある方、興味・関心がある方など、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

日 時：令和4年12月11日（日）9時30分～16時30分（予定）
開催形式：Zoomミーティングによるオンライン研修（参加者各自のネットワーク環境が必要です。）
受講対象：千葉県理学療法士会員、千葉県作業療法士会員、千葉県言語聴覚士会員
定 員：60名
プログラム：別紙参照
会 費：無料
申込方法：各士会のホームページに研修内容の詳細及び受付方法を掲示します。
(10月中旬 掲示予定)

【研修に関するお問い合わせ先】

訪問リハビリテーション実務者研修実行委員会
委員長 鳥居 和雄

E-mail：chiba_houmon@yahoo.co.jp

参加形式：Zoom ミーティングによるオンライン参加

令和4年度千葉県生活期リハビリテーション研修会 (千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

主催：千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議
運営：千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会

「求められる訪問リハビリテーションとは ～自分たちに出来ることを考え・伝える～」

令和4年12月11日（日曜日）9：30～16：30

時 刻	時間数	講義内容	説 明	役 割	所 属	職 種 など	講 師（敬称略）
9：15			受付開始（早めの入室をお願い致します。）				
9：30			開講式		千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会		
9：40	60	在宅で遭遇する急変時の対応	セラピストが知っておくべき医療対応 講演を受けて現場で悩んでいることを相談	座長	研修会実行委員会	セラピスト	順次更新
10：40		質疑応答		講師	千葉県医師会へ依頼	医師	順次更新
			休憩（10分）				
10：50	30	訪問リハに求めること ～医師の立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	座長	研修会実行委員会	セラピスト	順次更新
11：20				講師	千葉県医師会へ依頼	医師	順次更新
			休憩（5分）				
11：25	30	訪問リハに求めること ～訪問看護師の立場から～		講師	千葉県訪問看護ステーション協会へ依頼	看護師	順次更新
11：55					休憩（5分）		
			休憩（5分）				
12：00	30	訪問リハに求めること ～ケアマネの立場から～		講師	千葉県介護支援専門員協議会へ依頼	ケアマネジャー	順次更新
12：30							
			昼休憩（60分）				
13：30	60	相手のやる気を引き出す「気づく力」を養うには（仮）	利用者さまの可能性や能力を引き出すには、従来の技術だけではなく、状況や雰囲気を読み取り、適切に対応する能力が求められ、信頼につながる。訪問セラピストとして必要な能力について考える。	座長	研修会実行委員会	セラピスト	順次更新
14：30				講師	順次更新	セラピスト	順次更新
			休憩（10分）				
14：40	70	グループワーク（70分）	①訪問リハセラピストとしての役割とは何か ～自分たちに出来ることは何かを考える～ ②医師との連携を促進するには ～自分たちに出来ることをどうやって伝えるか～	座長	研修会実行委員会	セラピスト	順次更新
15：50					参加者	セラピスト	参加者全員
15：55	10	千葉県理学療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県理学療法士会	PT	協会代表
16：05	10	千葉県作業療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県作業療法士会	OT	協会代表
16：15	10	千葉県言語聴覚士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県言語聴覚士会	ST	協会代表
16：25	5	閉会					
16：30	5	アンケート					

※講師については、変更になる場合がございます。詳細は各県士会ホームページにてご確認ください。

新規部員募集について

公益事業局 在宅医療・介護支援部
部長 御代川 英 己

当部は、在宅医療・介護福祉領域において、他団体や自治体からの介助技術に関する研修や、イベント、ならびに市民向け講座の協力依頼への対応と、それを担う県士会員の育成を目的に活動しています。これまで、居宅介護事業所や介護施設での介護従事者向け研修会や自治体主催の住民向け介護教室の開催、千葉県歯科医師会の主催する在宅歯科医師の育成研修への協力、PTを対象に「介助技術を伝達するためのスキルアップセミナー」の開催等を行ってきました。

2022年度からは活動の軸を「在宅医療・介護における腰痛予防対策の普及啓発」において、リフトなどの移動支援機器を中心としたテクノエイド（福祉用具）の普及啓発に取り組んでいく方針としています。ついては、今後一緒に活動に加わっていただける新規部員を募集いたします。

（参加条件の例）

- ・県士会活動を通じてテクノエイドについて学ぶ意欲がある
- ・リフトリーダーなどの資格を生かして千葉県内で社会貢献活動をしたいと思っている
- ・千葉県士会の活動に参加し、所属施設以外で情報交換したい
- ・その他の在宅医療・介護の活動に興味がある

所属施設の所在地、経験年数問わず、広く参加者を募集しておりますので、ご質問やご興味関心のある方は下記までお問合せください。

問い合わせ先：h-miyokawa@kiseikai-reha.com 御代川宛

10月2日（日）ハラスメント対策WEB講習会

第一部、第二部とも申込みには氏名・会員番号が必要ですが、当日は匿名・ビデオなしで参加できます。参加費無料。

第一部 9：00～10：30

職能局業務推進部主催



「入門！ハラスメント防止講習会」

21世紀職業財団
清水知子氏

『ハラスメントってどこからがハラスメント？』、『何でもハラスメントになってしまうの？』と、意外にあいまいな『ハラスメント』にまつわるお話を、具体的にわかりやすく21世紀職業財団公認講師の清水知子氏にお話しいただきます。入門編として最適な講習会です。

〈第一部参加申込QRコード〉



第二部 11：00～12：30

管理者ネットワーク推進委員会共催



「カスタマーハラスメント、PTの知るべき法的知識（仮）」

弁護士法人 ALG & Associates
上林祐詞氏

昨今、PTに関するハラスメントのニュースや、投稿されている記事を目にすることがあります。医療・福祉の専門職でありながら、その顧客である利用者からのハラスメントから身を守る方法や、利用者からのハラスメントに気づいた際にどうしたらよいのか。対処しないと事業所や管理者にとってどのような法的なリスクがあるのか、従業員が加害者だった場合にはどうしたらよいのか、具体的にPTの現場に寄り添った法律のお話を聞くことができます。

〈第二部参加申込QRコード〉



❖ 編集後記 ❖

●学術大会

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

残暑の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、本誌の冒頭で薄 副会長の巻頭言で『この先の未来は』とありましたが、私も今年で44歳になります。現役世代として働けるのも残り20年程度…、20年後を見据えて今をどう過ごすか。また、今を過ごす中

で日々の変化に対応し、最短で最善な選択をしていきたいと思います。『急がば回れ』『失敗は成功の基』時には遠回りするかもしれません。しかし、遠回りも後々振り返ると最短かもしれません。また、最善を選んだつもりでも失敗になるかもしれませんが、同じ失敗をしないために必要な経験かもしれませんし、失敗したことで最善に気が付くかもしれません。すべての経験を活かして先の未来に進んでいきたいですね！

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

次回のニュース原稿の締め切りは
令和4年10月20日です！

～ハラスメントのない環境のために～



本会はハラスメント防止対策を推進していきます
地位乱用・IT弱者いじめ・価値観の押し付け・なんでもハラスメント・熱視線・
イクメン防止・妊娠の順位付け・性的少数者への偏見・相談放置…
すべてNGです！



千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ
<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)
Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック
〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp